

第24回「市民の声」アンケート 集計結果

「市民の声」アンケートは、市民の皆さんの市政や生活環境についての意識や意見などの傾向を調査し、市政運営の参考にするものです。約2年に1度、実施しています（前は令和元年度に実施）。今回、7月に行った第24回アンケートの集計結果がまとまりましたので、抜粋してお知らせします。

調査にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。いただいた貴重なご意見を参考に、今後の市政運営に取り組みます。

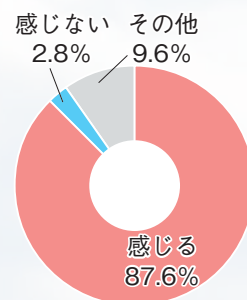
基本調査項目

住んでいる地区、年齢、職業などの項目のほか、行政分野に関する「市民実感度」について質問しました。

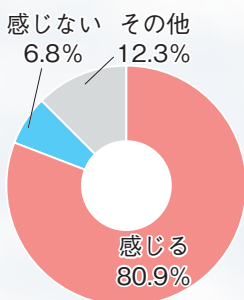
「市民実感度」とは、桐生市におけるまちづくりの指針となる、「桐生市第六次総合計画」の指標の一つです。各質問に対する回答のうち「大いに感じる」と「やや感じる」を合わせた、「感じる」と回答した人の割合を「市民実感度」としています。前回の調査から質問しており、今後の「市民の声」アンケートにおいても同様の質問をして、回答の推移をみていきます。

市民実感度が高い項目

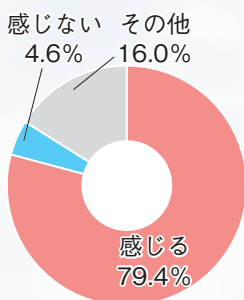
「いつでも安心して水道が使える」



「下水道などが整備され、快適に暮らせる」



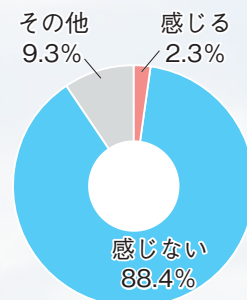
「自然環境は良い」



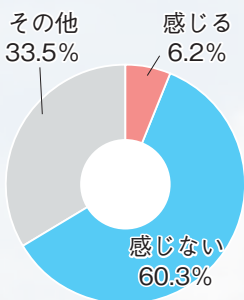
上下水道の環境整備と豊かな自然環境は桐生市の強みであり、今後も引き続き施策を推進し、磨きをかけてまいります。

市民実感度が低い項目

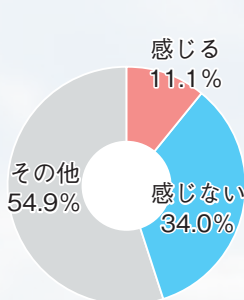
「中心市街地、商店街はにぎわっている」



「働きやすい環境がある」



「障がいのある人にとって暮らしやすいまちである」



産業経済分野は、より一層振興を図る必要があります。また、社会的に弱い立場の人の環境整備など、福祉の向上に努める必要があります。

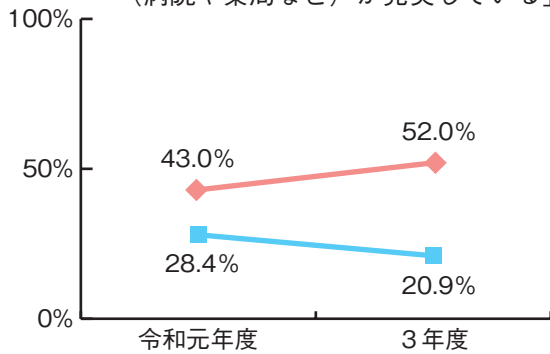
調査概要

調査地区	市内全地区	調査方法	調査用紙を対象者にメール便で送り、郵送により回収
調査対象	18歳以上の市民	調査項目	基本調査7問、個別調査24問
対象者数	2,000人	回収数	996人(前回799人)
抽出方法	無作為抽出	回収率	49.8%(前回40.0%)
調査期間	7月15日～31日		

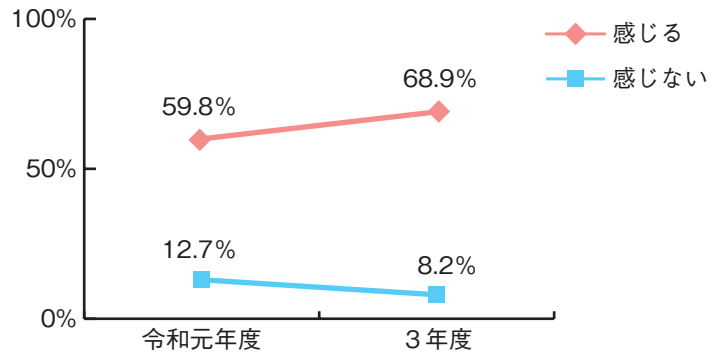
※「感じる」は「大いに感じる」と「やや感じる」の合計、「感じない」は「あまり感じない」と「まったく感じない」の合計、「その他」は「どちらともいえない」「わからない」「無回答」の合計です。

市民実感度が増加した項目

「安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実している」

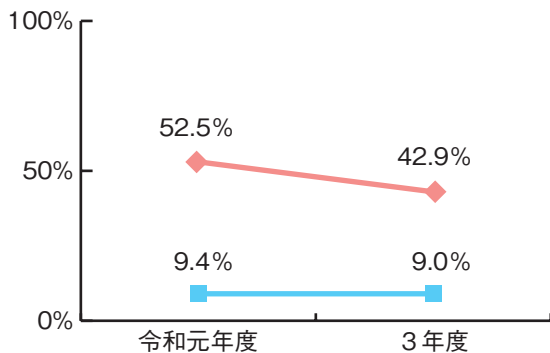


「治安が良く、安心して暮らすことができる」

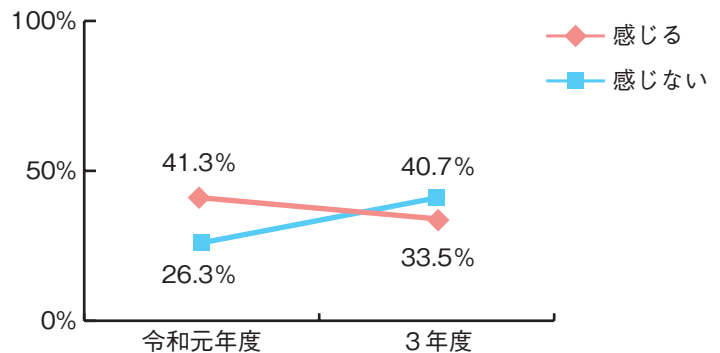


市民実感度が減少した項目

「子どもが健全に育っている」



「安全で快適に利用できる公園や、緑地が整備されている」



個別調査項目

市政における次の12分野について、質問しました。

- ▼ 幸福実感度
- ▼ シティブランディング
- ▼ 生涯を通じた健康づくり
- ▼ 地域医療
- ▼ 防災
- ▼ 広報
- ▼ きりゆう市議会だより
- ▼ 市内の移動
- ▼ S D G s
- ▼ 日本遺産
- ▼ インターネットの利用状況
- ▼ 自治会・町会

自由意見

自由意見記入欄には、369人の皆さんから、726件の意見が寄せられました。多く意見のあった項目は、公共交通、商業振興、道路整備・管理、市政運営、観光振興などです。

全文を読みたい人は

結果の全文を掲載した冊子は、市民相談情報課（市役所2階）、両支所、各公民館、市ホームページにあります。問い合わせは市民相談情報課 広聴・相談担当（☎内線472）

こんにちは
市長です



桐生選手との「かけっこ教室&トークショー」

10月4日に締結した、日本生命様との包括連携協定に基づく事業として、11月23日（祝）に桐生ガススポーツセンターにおいて、日本生命に所属する桐生祥秀選手をお招きし、「かけっこ教室&トークショー」を開催できることとなりました。本イベントでは、市内の小中学生と桐生選手との全力勝負や、東京2020オリンピックの話をお交えたトークショーが予定されています。

桐生市は「桐生」という名前の縁から、これまでも桐生選手を応援してまいりましたので、こうしたイベントの開催は本市のスポーツ振興にも大いに寄与します。

また、桐生選手は東京2020オリンピックにも出場した、日本を代表する陸上選手です。一流選手と触れ合うことで、子どもたちの良い刺激になることを期待します。

桐生市長 荒木 恵司